

パブリック・コメント手続の実施結果

「新庁舎建設推進室の設置について」のパブリック・コメント手続については、令和5年6月7日から同年7月7日まで募集し、11通・11件のご意見をいただきました。いただいたご意見と市の考え方は次のとおりです。

※「ご意見を募集した案件に対する意見ではないもの」については、掲載を省略させていただきます。

【いただいたご意見の要旨】

1	人は駅に関係なく広い駐車場を備えた魅力のある所に集まるようにできている。道路整備などで多額の税金を使われたと思うが、本庁舎については絶対にこの失敗を繰り返してはならない。立ち上げるなら「推進室」ではなく「撤退室」にしてほしい。
2	こんなパブコメに何の意味があるのか。市民にとって重要なのは、組織や体制より検討の中身。どれだけ市民の声を反映させる気があるのか。パブコメで募集するなら、市民にとってどうでもいい推進室の設置ではなく、検討の内容ではないか。
3	推進室設置規則の内容にかかる意見を募集とはよく意味が分かりません。設置規則などそもそも推進室を置くと決めた時点でその目的も含めて決まっているものではありませんか。
4	災害の状況により避難指示を出すなどの集中監視機能も新庁舎を建てるほどのスペースは不要であり、AI化が進めば駅北庁舎だけで十分足りることになる。今本当に必要なのは「新庁舎建設推進室」ではなく、「本庁舎継続利用対策室」ではないか。
5	DX化を踏まえた将来の市役所の姿を描き、リストラも含めて総合的に検討するのであればそれなりの人数になると思われるが、単純に既定路線に乗るだけなら、あえて設置するほどのこともないと思われる。いづれにしてもこれ以上の税金の無駄遣いはやめてほしい。
6	新庁舎建設の前に、庁内の仕事の効率化・自動化を図るべきではないか。そのうえで、本当に駅北に新庁舎が必要なのか再検討してほしい。今必要なのは「建設推進室」ではなく「効率化推進室」ではないか。
7	勝手に駅北移転を決めておいて、今更、「新庁舎の建設に関すること」だの「現本庁舎の跡地利用に関すること」だの何をしたいのか。本来、建て替えの是非を検討するなかで当然やっておくべきことではないか。そもそも何をするのか分からないのに「必要な職員を置く」とは意味不明。
8	市民の声を無視してまでどうしても推進室を作りたいのなら、室長以下全員の給料は市民の税金ではなく、市長と総務部長が個人的に出してほしい。
9	4月の選挙でも争点となり、多くの市民が新庁舎建設に反対していることが明らかになりました。新庁舎建設反対なので、「新庁舎建設推進室」の設置をする必要は

	ありません。それでも設置するというのであれば、「新庁舎建設推進室」ではなく「新庁舎建設検討室」にすべきです。「建設推進」大前提ではなく、民意を汲み取り「検討」するという姿勢を見せるべきです。
10	市の行革大綱には、「真に必要なサービスや施設のあり方、効果的な人的配置を検討、実行することで、経費削減と質の向上へとつなげ、市民の幸せを達成します」と書かれている。 推進室の職員には、これを忘れず肝に銘じて仕事にあたってほしい。
11	推進室の規則 1 市民の血税を大事にし、余分な設備等に税金を無駄遣いしないこと 2 無駄な空間で膨れ上がった豪華な駅北庁舎を反面教師として常に意識すること 3 20年後、30年後の市の在り方と庁舎の姿を前提にすること

【いただいたご意見に対する市の考え方】

本庁舎の建替えとその場所については、平成 23 年から検討を始め、令和 4 年 6 月議会において「多治見市役所の位置を定める条例」の一部改正が特別多数議決（出席議員の 3 分の 2 以上）で可決されています。

このことを踏まえて、新庁舎の建設事業を進めていくため、室を設置するものです。

今回のパブリック・コメントは、建設事業も含め室で担うべき業務等について、ご意見を募集したものです。

費用対効果や長期的な視点なども大切にし、進めてまいります。

—以上—